

人工知能による画像チェック自動化で

広告売上向上とコスト削減を実現

～導入企業全社で実現。合計約 2.5 億枚の投稿画像監視を自動化～

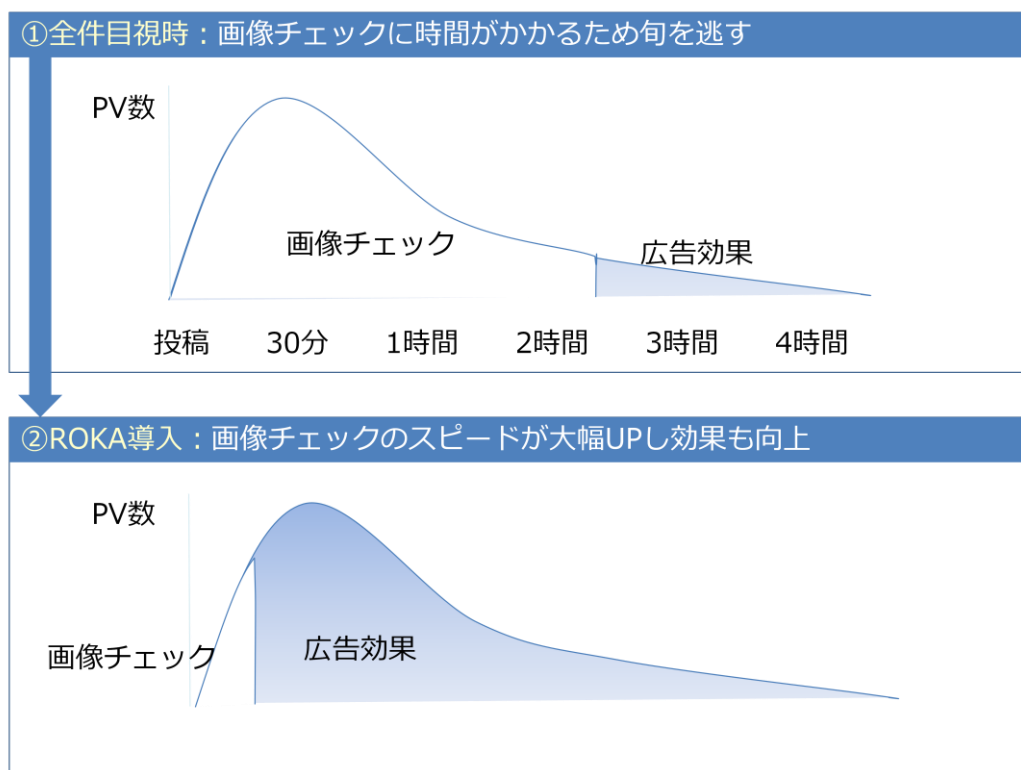
イー・ガーディアン株式会社 (<http://www.e-guardian.co.jp/> 東京都港区 代表取締役社長：高谷 康久 以下イー・ガーディアン) は、大手ブログサービスや画像共有サービスなどユーザー投稿型メディア 4 社に人工知能型画像認識システム「ROKA SOLUTION」を提供し、全ての企業で導入前に定めた目標値を達成いたしましたので報告します。導入前と比較し、最大 400%の広告売上アップ、90%のコスト削減を実現いたしました。

従来、導入企業 4 社はいずれも、広告配信先ページの適切是非を確認するために、ページ内の投稿画像をヒューマンオペレーションでチェックした後に広告を配信せざるを得ませんでした。そのため、閲覧数が一番高い公開直後のタイミングで広告を配信するチャンスを逃しておりました。

ROKA SOLUTION では、事前に不適切なコンテンツを学習させることで、投稿画像が適切か不適切か瞬時に判定することが可能です。これにより、ほぼリアルタイムで投稿画像をチェックし、広告配信をすることが可能となるため、目標とした売上の達成に貢献したと考えられます。

また、ヒューマンオペレーションで実施する場合と同等の健全性を維持しつつ、従来工程で発生する人件費やマネジメント工数、管理費用等を大幅に圧縮することも可能となりました。

【ROKA SOLUTION 導入前後のイメージ図】



イー・ガーディアンでは、「人力」だけでは実現が難しいオペレーションを人工知能のサポートで実現し、世の中の運用業務の自動化を目指しております。今後も ROKA SOLUTION の根幹技術である学習精度向上、その他の技術基盤の追加等、人工知能の品質向上についても幅広く研究し、実用化のサイクルを進めてまいります。

【ROKA SOLUTION について】

ROKA SOLUTION は、世界トップクラスの画像認識の機械学習システム（人工知能）を持つ東京大学大学院原田研究室（東京都文京区 総長：濱田純一、以下東京大学）とイー・ガーディアンが共同で開発したディープラーニングを活用した人工知能型画像認識システムです。

大量の画像・動画データを目視により分類したものを教師データとして事前にエンジンに学習させます。その後、実際の対象画像・動画をシステムに判定させ、結果を数値で表します。また、結果が誤っていれば学習するという作業を繰り返し行う事で判別能力を向上していきます。

【コンテンツ連動型広告とは】

Google AdSense などに代表されますが、メディアが所有するブログやウェブサイトに広告コードを貼り付けると、システムが自動的にサイトの内容を解析し、そのサイトとの関連性が高い広告が表示され、広告運営の手間を省くことができ、潜在的な顧客を獲得しやすいという利点があります。しかし、アダルト関連、暴力的コンテンツ、極端にコンテンツの少ないサイトなどに広告を配信してしまった場合、サービス運営会社より「警告・凍結・削除」を受け、今後の配信機会を逸失する恐れがあります。



■第一弾 児童ポルノ撲滅フィルタ

①イー・ガーディアンと東京大学が産学連携 ～児童ポルノ、著作権侵害などの問題画像を自動で発見できるシステムを監視業界初、提供開始～ (http://www.e-guardian.co.jp/info/20140728_autofilteringsystem)

②イー・ガーディアン、FC2 に「画像フィルタリングシステム」の提供を決定 児童ポルノの根絶に向けた対策を強化

(http://www.e-guardian.co.jp/info/20140827_autofilteringsystem)

■第二弾 メディア向けコンテンツ連動型広告対策用画像フィルタ

①イー・ガーディアン、GMO メディアに「コンテンツ連動型広告対策用画像フィルタリングシステム（ROKA SOLUTION）」の提供を決定 広告効果の最大化と媒体の健全化に向けた対策を強化

(<http://www.e-guardian.co.jp/info/2014/1114.html>)

②イー・ガーディアン、エキサイトブログに 自動画像認識システム「ROKA SOLUTION」を導入 新規投稿画像と約 2 億枚の過去投稿画像を自動でチェックし 媒体の健全化対策を強化

(<http://www.e-guardian.co.jp/info/2014/1218>)

■第三弾 広告主・代理店向け不適切コンテンツ判定フィルタ（アドベリフィケーション）

①イー・ガーディアン、はてなと共同で 不適切コンテンツ判定フィルタを開発。テキスト・画像を高精度に判定し、不適切コンテンツの迅速な自動検出が可能に (<http://www.e-guardian.co.jp/info/2014/1127>)

■第四弾 模倣品画像検知フィルタ

①「ニセモノ購入被害」からお客様を守る、偽物販売業者摘発サポートサービス！E コマース事業者向けに「模倣品画像検知システム」を提供開始 (<http://www.e-guardian.co.jp/info/2015/0127-0>)

【イー・ガーディアン株式会社 会社概要】

代表者 : 代表取締役社長 高谷 康久
所在地 : 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル4F
設立 : 1998年5月
資本金 : 34,005万円 (2014年9月末日現在)
業務内容 : ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務
URL : <http://www.e-guardian.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

イー・ガーディアン株式会社

TEL : 03-5575-2561 FAX : 03-5575-0621

Mail : info@e-guardian.co.jp 担当 : 荒池、大島